アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACEI)地域フォーミュラリVer.2

推奨	第一推奨	第二推奨	第三推奨
成分名	エナラプリル	イミダプリル	リシノプリル
薬価	2.5mg：10.8円 5mg：10.8円10mg：10.8円 細粒：41.6円/g"	2.5mg：10.8円 5mg：13.8円 10mg：17.8～27.5円"	5mg：10.8円 10mg：10.8円 20mg：10.8～11.2円"
用法用量	〈高血圧症〉 5～10mgを1日1回 ※腎性・腎血管性・悪性高血圧の患者では2.5mgからの投与が望ましい 〈慢性心不全〉 5～10mgを1日1回 ※ジキタリス製剤、利尿剤等と併用すること 〈小児高血圧〉 0.08mg/kgを1日1回 小児に使用する際は1日10mgを超えないこと	〈高血圧症〉 5～10mgを1日1回 〈1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症〉 5mgを1日1回	〈高血圧症〉 10～20mgを1日1回 〈慢性心不全〉 5～10mgを1日1回 ※ジキタリス製剤、利尿剤等と併用すること 〈小児高血圧〉 0.07mg/kgを1日1回 小児に使用する際は1日20mgを超えないこと
禁忌	・妊娠又は妊娠している可能性のある女性 ・アリスキレンフマル酸塩を投与中の糖尿病患者 ・サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物を投与中の患者	・妊娠又は妊娠している可能性のある女性 ・アリスキレンフマル酸塩を投与中の糖尿病患者 ・サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物を投与中の患者	・妊娠又は妊娠している可能性のある女性 ・アリスキレンフマル酸塩を投与中の糖尿病患者 ・サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物を投与中の患者
特徴 推奨理由	小児高血圧適応あり 細粒の剤型がある 地域シェア50％を占める 慢性心不全の予後改善効果	1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症に適応あり	小児高血圧適応あり 慢性心不全の予後改善効果

標準的換算表(用量・薬価)

~アンギオテンシン変換酵素阻害薬(ACEI)~

高圧効果 → 大きい

エナラプリルマレイン酸塩錠	**2.5mg**	**5mg**	**10mg**	**20mg**
	(10.8円)	(10.8円)	(10.8円)	(21.6円)
イミダプリル錠	**2.5mg**	**5mg**	**5mg**	**10mg**
	(10.8円)	(13.8円)	(13.8円)	(17.8～27.5円)
リシノプリル錠	**5mg**	**10mg**	**20mg**	**20mg**
	(10.8円)	(10.8円)	(10.8～11.2円)	(10.8～11.2円)
ペリンドプリル錠	**－**	**2mg**	**4mg**	**8mg**
	－	(14円)	(24.6円)	(49.2円)
カプトプリル錠	**37.5mg**	**37.5mg**	**75mg**	**－**
	(15.5円)	(15.5円)	(24.6円)	**－**
バルサルタン錠※	**40mg**	**80mg**	**160mg**	**－**
	(10.8円)	(12.2円)	(17.3円)	**－**

※ＡＣＥＩ⇔ＡＲＢの変更時に参考になるようにバルサルタン錠を記載